

# ジョージア政治・経済 主な出来事

【2017年5月22日～2017年5月28日】

〔当地報道をもとに作成〕

平成28年6月1日

在ジョージア大使館

## 1. アブハジア・南オセチア

### 【アブハジア】

#### ▼ドイツ国民の拘束(22日)

・行政境界線付近のアブハジア側にて「不法入国」の疑いで露国境警備隊がドイツ国民1名を拘束。アブハジア側の報道によれば、非拘束者はハイキング中にアブハジア側に入ったことを知らなかった。

### 【南オセチア】

#### ▼「駐南オセチア露大使」の任命(23日)

・プーチン露大統領が、2008年から「駐南オセチア露大使」を務めるカルギエフ「大使」の後任に、クラフメトフ新「大使」を任命する大統領令に署名。

・「ク」氏は北オセチア共和国に配備されている露軍第19軍の司令官を経て、2004年から2008年まで南オセチアの共同平和維持軍の司令官であった。2011年以降、「ク」氏は露外務省の顧問を務める。

・2008年の南オセチアでの紛争に関与していた「ク」氏の任命について、ジャネリゼ外相、ツィヘラシヴィリ和解・市民平等担当國務大臣らが批判するコメントを発表。

## 2. 外 政

### ▼トルコ首相のジョージア訪問(23日)

・ユルドウルム・トルコ首相がチャヴシュオール・トルコ外相らとともにトビリシを訪問。マルグヴェラシヴィリ大統領、クヴィリカシヴィリ首相らと会談。ジョージア・トルコ・ハイレベル戦略的協力評議会の第2回目の会合が行われた。

・「ク」首相と「ユ」トルコ首相は二国間の戦略的協力、ジョージア・トルコ・アゼルバイジャンの三カ国のフォーラムでの協力などについて議論し、ジョージア・トルコ関係の法的な基盤を更に拡大する文書に署名。

### ▼ジョージア・トルコ・アゼルバイジャン三カ国防相会談(23日)

・バトゥミにてジョージア・トルコ・アゼルバイジャンの5回目となる三カ国の国防相会談が行われた。イゾリア国防相、ウシュク・トルコ国防相およびハサノフ・アゼルバイジャン国防相は、三カ国の協力の目的は地域における平和・安定・安全の強化および三カ国の軍の発展であるとして、独立・領土一体性・主権および国際的に承認された国境の不可侵の原則に対する相互の支持を強調。三カ国共同演習の規模の拡大について議論。三カ国が地域・世界の平和・安定の保障に対する関与を今後

も継続し、相互の独立・主権・領土一体性を認めるとの共同声明に署名。

・22日、クヴィリカシヴィリ首相はトビリシにてハサノフ・アゼルバイジャン国防相と会談。

### ▼欧州議会代表団のジョージア訪問(24日)

・ムカリステル欧州議会外務委員会委員長を団長とする欧州議会代表団がジョージアを訪問。マルグヴェラシヴィリ大統領、コバヒゼ国会議長、クヴィリカシヴィリ首相、ジャネリゼ外相らと会談。

・「ジャ」との会談ではジョージア・EU協力、ジョージア国内の改革、被占領地域の状況などについて議論された。「ジャ」外相は11月に予定される東方パートナーシップ首脳会議でジョージアがEU加盟に更に近づくよう期待を述べた。

### ▼NATO議員会議春季総会(26日-29日)

・28の加盟国および20のオブザーバー国を含む約600名の代表団が出席。NATO加盟国の代表団は南オセチア行政境界線付近の状況を視察。

・27日、ユクネヴィチエネNATO議員会議副議長は、「ジョージアはNATO加盟の準備が整っている。場合によっては、一部のNATOメンバー国よりも準備が整っていると言える」と述べた。また、民主制、透明性、経済発展においてジョージアは著しい前進を果たしたとしつつ、「ジョージアは法の支配、メディアの多様性を強化し、政治的な二極化を和らげるため努力を継続せねばならない」と述べた。更に、前政権の指導者の逮捕が欧州で懸念を招いているとして、「これが一部の人々がジョージアがNATO加盟の準備が整っていないと考える理由の一つであると思う」と発言。

・アリNATO議員会議議長はマルグヴェラシヴィリ大統領、コバヒゼ国会議長、クヴィリカシヴィリ首相らと会談し、NATO・ジョージア協力、ジョージアの国内改革などについて議論。「ア」議長は、ジョージアは地域における「安定の島」であり、NATOはジョージアの防衛を欧州の防衛と考えると述べた。

・29日、NATO議員会議はジョージアのNATO加盟を支持する第435号宣言を採択。宣言は、NATOの門戸開放政策への支持を再確認し、NATO加盟に関する決定は第三国の影響を受けないと述べている。また、「ジョージアのNATOとの関係は最終的な加盟を準備するあらゆる実際的な手段を有している」としつつ、「加盟行動計画(MAP)はこのプロセスの不可分の一部である」と述べている。

### ▼首相のスロバキア訪問(28日)

・クヴィリカシヴィリ首相がスロバキアで行なわれた世界安全保障フォーラムに出席。

・フィツォ・スロバキア首相らと会談。会談で両首相は、二国間のパートナー関係、政治・経済・貿易関係の重要性、ジョージアのEU・NATO加盟の見通しなどについて議論。ジョージアにとってのスロバキアとの経験の共有の重要性が強調された。

### 3. 内 政

#### ▼共和党と自由民主主義者党の協力(23日)

・共和党と自由民主主義者党は2017年10月の地方選挙に連合して参加する意思を確認。サムニゼ共和党党首は現時点で協力について協議を行なっているのは自由民主主義者党のみであると述べた。

#### ▼トルコ人男性の拘束(24日)

・24日、警察はトビリシ市内の私立デミレル学校の経営者の一人チャブク氏を拘束。翌25日、トビリシ市裁判所は「チャ」氏の勾留に関する検察の要求を認めた。トビリシ市裁判所によれば、トルコにて手配されている「チャ」氏はテロ組織との関係が疑われている。

・被疑者の弁護士は、「チャ」氏はギュレン師に関連するとしてトルコでテロ組織に指定されている団体FETÖとの関係を有するとしてトルコ側の要請により拘束された

と述べた。「チャ」氏は容疑を否認している。

#### ▼独立記念日(26日)

・独立記念日を祝う催しが各地で行なわれ、トビリシ市内の自由広場ではマルグヴェラシヴィリ大統領、クヴィリカシヴィリ首相、コバヒゼ国会議長、イリア2世ジョージア正教会総主教らが出席した記念式典が行なわれた。300名以上のジョージア軍の新兵が宣誓。

・マルグヴェラシヴィリ大統領は演説で、国の統一、EU・NATO加盟、民主的な国の建設を国の3つの目標とし、ジョージアはまだ独立から自由への途上にあると述べた。

#### ▼自由のための運動・欧州ジョージアの党大会(27日)

・自由のための運動・欧州ジョージア党の初めての党大会が行なわれた。バクラゼ議員(元国会議長)を党首に、ウグラヴァ前トビリシ市長を事務局長に、ボケリア元国家安全保障会議書記を90名から成る政治委員会委員長に選出。ホシュタリア議員を10月に予定されるトビリシ市長選挙の候補者に決定。

### 4. 経 済

#### ▼2016年の雇用統計(25日)

・国家統計局の発表によれば、2016年の失業率は11.8%。前年よりも0.2%低下。男性14.2%、女性8.8%。